

本時のねらい

【自立活動】話の要点をメモする 【算数】文章題を「かけわり図」で整理する

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

【自立活動】メモを取る際に重要な観点を提示し、いつでも振り返ることができるようにする

表現ツールのひとつとして、キーボードを使って文章を考える

【算数】重要語句をカード化し、端末上で動かしながら「かけわり図」を使って文章題を整理し、立式につなげる

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・SKY MENU Class 内のアプリ、発表ノート

本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動と内容 | ICT 活用のポイント・工夫 |
|-------------|--|---|
| 導入 (15分) | <p>【自立活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「聞き取りメモ」を用いて、教員の話から大事なことをメモする。 ○「ことわざ」学習 <ul style="list-style-type: none"> ・途中まで書いたことわざの続きをタブレット端末にローマ字うちで完成する。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「かけわり図」の復習 <ul style="list-style-type: none"> ・「1」「1あたり量」「分量」「全部量」のちがいに気をつけて、「かけわり図」を完成させる。 ・求める部分によって、掛け算になるのか、割り算になるのかを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りに必要な観点を常に端末上で表示することで、メモに活かす。 ・文章作成ツールとして、キーボードでローマ字打ちの練習をする。 ・文章の中の重要語句をカード化しておき、端末上で操作することで、「かけわり図」を完成させる。 ・モニター上の「かけわり図」を用いて立式方法について検討する。 |
| 展開 (25分) | <ul style="list-style-type: none"> ○「かけわり図」から式を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・文章題を読んで、「かけわり図」に数字や単位を書き込む。 ・3つのパターンのうち、どれに当てはまるのかを考え、式をたてる。 ・問題の一部である、時間換算について時計の円形から視覚化して理解する。 ○立てた式を計算する。 <ul style="list-style-type: none"> ・約分に気を付けて、計算する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットやモニターに導入で考えた「かけわり図」を表示しておき、立式の参考にする。 ・苦手の時間換算の支援として、端末上で時計の時間を円グラフで表し、視覚化しておく。 |
| まとめ (5分) | <ul style="list-style-type: none"> ○分数であっても、「かけわり図」を使って文章題が解けることを確認する。 | |

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：【自立活動】ことわざ学習をしている場面



写真2：【算数】「1」「1あたり量」「分量」「全部量」のちがいに気をつけて、掛け割り図を完成させている場面



写真3：【算数】タブレット画面で確認しながら、時間を分数で表している場面

児童生徒の反応や変容

・思考する際に参考になる図やグラフを端末上でいつでも表示できるようにすることで、苦手の文章題や時間換算のヒントにしている。操作にも慣れ、学習内容の理解も深まっている様子が感じられる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・「視覚化」という点で、参考資料を映し出しておくことは有効だと感じている。ノートで探すよりも、一つの操作で参考となる資料が探し出せるので、意欲的に学習を行うことができている。